

### 3月26日 第20回通常総会を開催しました

コロナウイルス蔓延防止中で総会開催をどうしようか迷いましたが、重要案件もあり懇親会は行わないことで開催しました。

そのせいか、出席者が例年より少なく残念でした。総会終了後に手作りケーキとコーヒーのささやかな茶話会でした。新会員が多く出席され世代の交代を感じさせる良い会になりました。総会の案件は全て承認されました。その中に幾つか意見や提案がありました。

○役員は全員再任されましたが活性化を図るためにも今後2年間で次期体制に引き継いでいくための準備期間とする。特に事務局が担っている役割を分担して、会員の得意な分野を担ってもらう役割分担制の方針も承認されました。事業継承をスムーズに行えるよう、今後役割をお願いした時は宜しくご協力願います。

#### 役員の名前

理事長：中島佐代子

副理事長：栄岩哲二

理事：倉島寛

理事：村上欣央

理事：阿部克也

理事：中島正博

監事：青沼道夫

○SFW通信について、SDGsや費用的観点からペーパーレスにし、ネット掲載だけで良いのでは？という提案がありました。通信を楽しみにしているという声もあり、紙ベースの良さもありますが、時代の流れに従って随時ネット掲載に移行して行きますので、紙で欲しいという方はその旨連絡いただければ郵送させていただきます。



総会で活発な論議がありました

#### ○「森林ボランティア作業安全指針」について

SFW が平成20年に制定した本指針は、ボランティア活動を安全に行う基本的（最低限）な事が記されています。

従って常に基本に立ち返って本指針を遵守することが必要です。

ホームページの会員ログインに入ると、本指針が掲載されており、いつでも見られますので再確認してください。

#### ○蜂アレルギー抗体検査について

これからのシーズン、夏から秋にかけて蜂の活動が活発になり、蜂刺さされの危険があります。

そこで除伐や下刈り等の森林活動を行う者は、蜂アレルギーの抗体検査を実施してください。

更に、アレルギーの強い人は医師の診断によりエビペンを持参するようにしてください。

これは自分の命を守るために、各自の責任において実施していただくよう要請します。

SFW としては、吸引器（ポイズンリムーバー）を携帯するように致します。

#### 総会開催

…………… 1

森もり館から岩草館へ

…………… 2

2月3月の活動から

…………… 3

4月以降の予定 ……… 4

SDGsを推進するため、水や資源の節減、セルフサービスの徹底に協力いただき、環境に優しいマイ箸、マイカップの持参をお願いしています。勿論、ゴミは持ち帰りが原則です。

メルマガ（メーリングリスト）のアドレスは

sfw-mail@sfw.or.jpです。

皆さんからの情報を送ってください。登録者全員に配信されます。

なお、メルマガへの登録、変更、削除は事務局 office@sfw.or.jpへお願いします。

#### 事務局ノート

2月

3日 長野西高中条校  
評議員会

5日 会計監査

3月

6日 理事会

28日 次期総合5カ年計画  
長野地域懇談会

28日 小川造林補助金申請

## 森もり館から岩草館へ

SFWの活動拠点が小川村小根山の「森もり館」から、長野市七二会の「岩草館」（元七二会小学校の岩草分校）へ移ることになりました。

20年程前に小川村で間伐を始めたのがスタートでしたが、当時としては画期的なことだったと思います。それを受け入れてくれた地域の皆さんも今は世代が変わりつつあり、表立屋に2軒も新たに飲食店ができたというので驚きです。

SFWが行った絆の森林整備事業も2回し、ほぼその役割を終えたと思います。

七二会の岩草地区の皆さんは、岩草分校を大切に守ってきており、80年以上たった趣のある木造校舎が自然の中に溶け込んでいます。分校を活用して地域の活性化を図りたいという思惑とSFWの探している活動拠点到ピッタリの建物であったので、早急に話がまとまりお借りすることになりました。中条地区の間伐が終わり次第引っ越しをしますので、会員の皆さんのご協力をお願いします。

岩草館は長野市内から車で30分程、七二会支所から10分程の場所で、文化や歴史を感じる素晴らしい所です。

しい所です。

定まったフィールドを持たないSFWの活動範囲が広がったと前向きにとらえ、新展地は「学校は人が集まるところ」なので、岩草館を活動の中心として、会員はじめより多くの皆さんが集まっていたいただける場所にしていきますので宜しくお願い致します。



冬の岩草分校の玄関

## 2月3月の活動から

☆2月26日(土)

ようやく最高気温が5度を上回る日が続いて活動ができる状況になってきました。1月・2月の2か月間は気温や積雪でほとんど活動ができませんでした。この日は久々に顔を合わせ、9人と大勢の参加で賑やかでした。

中条の間伐予定地の境界確認ですが、図面とGPSを使って施業地の外周を歩いて回り、各ポイントに目印の赤テープをして、林班番号を書きました。

さすがに山林の中は積雪が多くまだ30~50cm位も。歩きにくく長靴で辛うじて歩きました。ただ、葉を落としたこの時期こそ見通しがきいて境界確認するには良いタイミングです。

作業の切れ間が良いので早めの昼食にして、住良木の生活センターに戻りました。ここは間伐の間借用した地域の集会所です。皆で広間で昼食をとることができ、倉庫には間伐道具を置かせてもらい、至れり尽くせりで、とても感謝しています。

大勢参加のため午後は2手に分かれて、2人は森もり館へ間伐道具などを取りに行き、倉庫に入りました。ただ森もり館の前の積雪が50cm位あり、庭

の中央だけ1回除雪した跡がありましたが、駐車場の軽トラを出すために氷った雪の取り除きに苦労しました。

その他のメンバーは密度管理を道路の上と下、2か所で行いました。急傾斜でha当たり1,200から1,400本の密度ですが樹高が高く間伐しにくい山林です。3時頃には終了し、生活センターに戻りました。ごみ問題などの話をしたり、和気あいあいとした中で楽しいひと時を過ごして解散となりました。

☆3月3日(木) 間伐開始

この日は、平日組6人が揃ったので、2人1組になって間伐です。

軽トラ3台に乗って現地に行き、道路のカーブ際の少し広がった所に駐車をし、間伐道具の準備をして活動となります。

今年はまだ10cm~30cm位の積雪があり、歩きにくいので、足場が踏ん張れないと危険です。開始前の朝ミーティングと終了後の終了ミーティングで注意事項やトラブル等の報告をして情報共有しています。

今回はシーズン始めなので施業ガイドラインを改めて全員で確認し、安全作業を誓いました。

## 2月24日 長野市立 広徳中学校

昨年度から行っている広徳中学校でシイタケの駒打ちを行いました。

当初は2月22日の予定でしたが、寒波がきて雪降りの寒い日の予報だったため、予備日の2月24日に行いました。

場所は校舎の東側でしたがあまり風もなく、日が差すと暖かく丁度良い気候でした。

全員揃った所で挨拶や活動内容の説明をして開始です。支援学級の生徒は、2度目の生徒が1人で、後はみな初めての活動です。原木の両側を押さえる人がいて、スタッフがドリルで穴を明けた所へシイタケの駒を打つ活動です。

細目の原木には穴を2列から3列、太目の原木には6列の穴を開け駒の数と穴の数が合うよう調整しながら行いました。

音に過敏な生徒もいて、穴明けと駒打ちは離れた場所で行いました。どうしても駒打ちのほうが遅くなるので、穴明けが終わったら駒打ちを手伝い、ほぼ時間通りに終わりました。

駒打ちした原木は、井桁に組み、遮光ネットを掛けて仮伏せしました。

活動が終わって、支援学級の教室に招かれ、お茶とお茶菓子を頂きました。

きちんと準備からお茶くみまでしてもらい、先生のご指導も良く、和やかなクラスの雰囲気伝わってきました。教室には、昨年駒打ちした原木が置いてあり、スプレーの水と暖房で、外の原木より一足早くシイタケの成長が観察できるようになっていました。学校林のクヌギを使って、駒打ちから栽培までという良い取り組みだと思いました。



駒打ちは楽しいね

## 4月の活動から

4月2日(土) 土・日の活動はボランティアの日として間伐作業の新人講習を行っています。新型コロナで閉じこもっていたためか、4月の声を聴いて参加者がぐっと増えて13名となりました。このままでは密になって危険ですので、分担や活動班割などで分散するようにしています。

4月2日は会員でもありプロの宮川さんに来てもらい、長野市中条住良木地区の道沿いの木を伐採しました。より安全な作業をするため林地の間を通っている市道を通行止めにして行うことにしました。

しかし許可をもらうのに大変でした。駐在所で印鑑をもらい、区長の印鑑をもらい、有線放送の放送文や迂回の地図など、その書類を自治会で回して承認を頂く必要があります。中条支所に努めている会員の寺島さんがいたからこそできた手続きでした。感謝！感謝！しかも2,300円の印紙代がかかりました。通行止めにするゲートの誘導員は道の上下2名づつ、1時間15分毎の交代制で行いました。

道路沿いの伐倒木にマーキングしておき、宮川さんが伐倒し他の会員が玉切り、枝払い、整理して清掃と、全員で協力してスムーズに作業が進みました。

太い木や急斜面で伐りにくい木が多かったのですが1日で20本位は伐採できました。さすがプロの技を見るだけでも良い勉強になりました。道路を完全にストップしてできたのは安心感もあり手間がかかっても良かったと思います。

15時には終了し、道具などを片付けてから、センターに戻り、手作りパンとコーヒーで反省会。過密にならないよう協力して安全にできたことに喜びを感じました。

4月9日(土)も2日と同様に13名の参加があり、安全のため密にならない様配慮して実施しました。

(写真は次ページに掲載)

活動予定	4月以降		お天気の状態等により予定が変更されることがあります。 参加される方は、参加予定表に記入するか事務局へご連絡ください。
学校林整備事業	4月24日(日) 9:30集合	松ヶ丘小学校	裏山の学校林整備（ある人はチェーンソー等持参）
木工体験支援事業	4月以降未定	昭和小学校など	学校林整備ででた材を使い木工体験など
春日神社御柱大祭 建御柱	5月4日(水) 8:30集合	長野市七二会 春日神社	建て御柱で4本の柱をチルホールを使って安全に建てる行事ですが、今まで実施していた人が高齢のため、代わりにSFWがスタッフとして参加要請があり、地区の行事に初参加のお披露目となります。
林業体験教室	7月5日(火)	長野市体験の森	長野市立東北中学校179名の林業体験 昨年から日程が決まっている東北中学校の林業体験教室です。平日ですので、ボランティア休暇がとれる方は今から調整してスタッフ参加できるようお願いします。詳細なプログラムは未定ですが、5クラスですのでクラス毎に正副のスタッフが付くとして最低10人必要です。事前に現地準備などの段取りが重要です。会員の皆さんのご協力をお願いします。
緑の少年団長野地区交流集会	8月未定	場所未定	総勢300名の集会



作業前の朝ミーティングで作業安全等の確認



軽トラで現地の近く行き装備を整えて活動開始

間伐などヘルメットが必要な活動を行う会員は、所定の用紙に緊急連絡先等を記載して、自分のヘルメットの中に入れておくようお願いします。総会で話し合いしたように、安全や環境に関しては、できることから直ぐに実行しましょう。

信州フォレストワーク通信では、皆さまからのご意見や感想をお待ちしています。そのほか日頃感じていること、SFWでの活動や体験レポートなどお気軽にお寄せください。ペンネームや匿名での掲載も可能です。なお、記事は紙面の都合により一部編集させていただく場合があります。郵送、FAXまたはメールにて事務局までお送りください。

NPO法人信州フォレストワーク  
通信編集委員会  
〒381-2246 長野市丹波島1-725-5  
電話・FAX: 026-285-2573  
携帯電話: 090-2658-2044  
office@sfw.or.jp  
http://www.sfw.or.jp/

